

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センターめぐみ（保育所等訪問支援事業）		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 1日		2025年 2月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○従業者評価実施期間	2025年 2月 1日		2025年 2月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○訪問先施設評価実施期間	2025年 2月 1日		2025年 2月 14日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保育所等訪問支援の様子を保護者に伝え、こども園や小学校での様子がよくわかると、とても喜ばれている。	・前回訪問時から成長している姿を保護者に具体的に伝えている。 ・児童に対して先生方がどのように関わりをもっているか、情報共有をしている。	・保護者から、児童の家での様子を聞き、それを保育所等の保育士や先生に伝えることで、対象児童の保育に活かしてもらうようにする。
2	・こども園や小学校に出向き、対象児童に直接関わることで、その児童をより深く理解することができ、先生方にも適切なアドバイスができる。	・対象児童について、こども園や小学校の先生方に深く理解してもらうために、外来訓練での様子や保護者からの情報を詳細に伝えている。	・こども園・小学校・家で見せる姿を総合的に捉え、成長を促すために今できることを検討していく。
3	・地域療育等支援事業（巡回療育・施設支援）を利用し、専門職員から支援アドバイスをもらっている。	・保護者の同意のもと、関係機関にも協力をいただき、医療機関との情報の共有化を行っている。	・専門家のアドバイスをもらえるメリットを伝え、積極的な利用を促す。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・間接支援としてのカンファレンスを設定するのが困難である。	・訪問支援員(リハビリスタッフ)の業務の都合もあり、必要な回数を実施できていないことがある。	・こども園や小学校の運営に支障が生じないように配慮しながら、間接支援の時間を設定していく。
2	・保護者、こども園、小学校等の保育所等訪問支援事業に対する認知度が低いため、利用に繋がらない。	・保育所等訪問支援の制度自体を知らない、或いは知っていても詳しい内容を知らない、またはどこに依頼（相談）して良いのか分からない方が多いのではないかと考えられる。	・同一施設内で行っている発達外来や相談支援事業所を活用し、保育所等訪問支援事業の周知を行う。
3			

公表 保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日		利用児童数		回収数	
児童発達支援センターめぐみ		2025年 2月 28日		4名 2025年 2月 14日		4	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教員教材が整えられていますか。	3	1				
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	4					
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	4					
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	4					
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	4					
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	4					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	4					
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	4					
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2	1		1	ガイドラインは保護者に説明を要するものではないと思う。	
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4					
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	4					
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4					
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	1			3		ご家族が参加できる研修会や情報共有の機会は行っていないため今後の課題になると思われる。
	15 必要ときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていますか。	4					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	4				なによりも子供を優先し寄り添い支援してくださっている。	
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4					
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4					
	20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	4				支援者のアドバイスは寄り添い理解してくださっているからこそこのもので感謝している。	
	21 保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	4					
22 保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	4						
非 常 時 等 の 対 応	23 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	2			2		評価の掲載は今年度からなので次回からはわかるようお声がけていく必要があると思われる。
	24 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4					
	25 事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	3			1		
満 足 度	26 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4					
	27 こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	4					
	28 事業所の支援に満足していますか。	4				支援していただけていることで子供の人生が変わった。	支援に満足していただいているということと大変励みになるお言葉をいただき、今後も期待に応えられるよう支援が出来ればと思う。

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				
児童発達支援センターめぐみ		2025年 2月 28日				
チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	4			困りの場面ごとにアドバイスをいただけるので助かっている。こちらの質問や疑問に対して助言をしていただけてすぐに生かしている。学校で対応できるものであればできるのですが、具体的にその子にあった教材や方法があれば教えていただけると助かる。	
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	4			教員では判断できない専門的な知識が大変役にたっている。	
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	4				
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	4			この取り組みを導入し、児童の様子が改善されている。	
5	事業所からの支援に満足していますか。	4			支援の回数がもっとあってもよいと思う。	給付される支援日数もあるのでその方々で回数がことなり、また、支援員の確保、時間の調整が難しいためなかなか回数の増加は難しいと考えているが電話等でのやり取りは可能なので連絡していただければと思う。
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
この事業を活用することは学校、家庭、地域での困りを共有し医療機関の見立てと現場での困りの違い等を補うことにもなり大変効果的だと感じている。是非拡大、充実させてほしい。アドバイス等を伺い、指導、支援の参考にさせていただいている。予定していたであろう時間よりも多くの時間をとっていただき、教員の質問への回答やバギーの移乗支援の仕方について説明していただき、大変勉強になった。今年度は2回の支援で終わってしまいそうだが、学期に1回ずつ来校していただけるとさらに理解が深められ我々の学びになると思う。ゆっくりお話を伺える時間を取れず、申し訳なく思っている。また、こちらの子供への対応の仕方にもお気づきのことがあればご忠告していただきたいと思う。					保育所等訪問支援の活動を理解し受け入れてくださり、大変ありがたく思います。また、ご家族、訪問先と大変ありがたいお言葉をいただき保育所訪問支援の重要性、必要性を改めて感じることができました。回数や時間については今後、支援員とも話しながら確保できる際には支援をお願いしていければと考えています。	

